

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

• 2025/12/24

- 公益社団法人日本建築士会連合会
情報広報委員会 情報部会
BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成部会
部会長 大石佳知（岐阜県建築士会）

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

• 2025年度（令和7年度）活動内容

- BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成 第3部の作成
 - 維持管理段階でのBIMデータ活用
- BIMマネージャー・コーディネーター育成のためのセミナー
 - + 維持管理の開催
 - 10/6（月）仙台会場～12/17（水）福岡会場 全国12カ所で開催
- テキストにおけるBIMマネージャー・コーディネーターの定義について

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・維持管理段階でのBIMデータ活用

- ・建築物は完成した瞬間が終点ではなく、その後の維持管理の時間こそが、最も長く、最も人の営みに寄り添うフェーズといえる。
- ・建物の維持管理に関する情報は、紙や経験に頼り、組織の中でも断片的に扱われてきた。
- ・BIMの活用によって「維持管理」という長期的な視点からも、その価値が再発見されつつあり、図面や台帳の電子化を超え、情報が統合され、運用に直結する時代が始まっている。
- ・イギリスやアメリカなどでは、発注者の関心が特に高まり、国際的にも維持管理を見据えたBIM活用が新たな常識になりつつある。

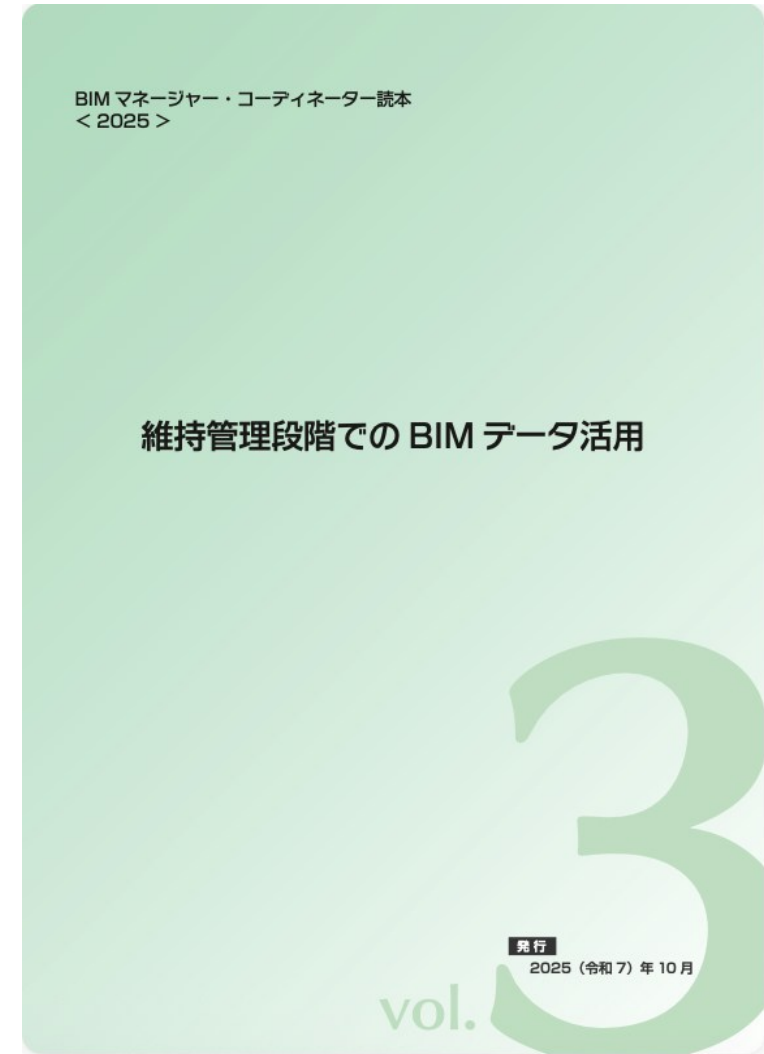
2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・維持管理段階でのBIMデータ活用

- 本書では、維持管理段階におけるBIMデータの活用に焦点を当て、その基本的な考え方から、導入プロセス、具体的な事例、そして今後の展望に至るまでを体系的に解説した。
- 特に、発注者や施設管理者が「なぜ」「どのように」BIMを活かすべきかを整理し、実務で使える知見と視点を提供することを目的とした。
- 維持管理BIMは、単なるツールではなく、建築を未来へ引き継ぐ「**知の継承基盤※**」である。
 - ※）BIMを使うことで、建物に関する知識を世代や組織を超えて共有できることを「**知の継承基盤**」と表現。

2025年度（令和7年度） 日本建築士会連合会の取組み報告



2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・維持管理段階でのBIMデータ活用 目次

1. BIM活用がもたらす維持管理への価値 《序論》
2. 維持管理におけるBIMの基礎概念
3. 維持管理段階におけるBIMの活用シーン
4. 情報整備と運用設計 —成功に導く5つの視点—
5. 発注者が得られる主要メリット
6. 導入ステップと運用上の注意点
7. 国内の導入事例
8. 主要国のBIM推進と維持管理への活用状況
9. 維持管理BIMが拓く未来の建築運用 《まとめと展望》

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・維持管理段階でのBIMデータ活用 目次

- ・ 監修・執筆者
 - ・ 安野 芳彦 株式会社梓総合研究所 取締役 株式会社梓設計 プリンシパルアーキテクト
- ・ 挿絵
 - ・ 安江 姿子 株式会社梓総合研究所 企画広報担当
- ・ 対談協力
 - ・ 山本 かおる 株式会社梓総合研究所 研究員
- ・ 対談・寄稿にご協力して頂いた方々
 - ・ 佐藤 金幸 株式会社梓総合研究所
 - ・ 猪里 孝司 大成建設株式会社
 - ・ 墓田 京平 株式会社梓総合研究所
 - ・ 石川 隆一 株式会社梓設計 / 株式会社梓総合研究所
 - ・ 安井 謙介 一般社団法人 buildingSMART Japan / 株式会社日建設計
 - ・ 松原 孝之 株式会社ハリマビステム
 - ・ 村井 一 東京都市大学

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

「BIMマネージャー・コーディネーター育成のためのセミナー＋維持管理」の開催

・セミナー構成：

- ・第1部：建築DXとBIM～世界潮流と日本のBIM活用の現在
- ・第2部：BIMマネージャーのスキル～データマネジメント、社内環境構築と情報共有
- ・第3部：建築物のライフサイクルマネジメント～維持管理におけるBIM活用
- ・質疑応答
- ・【情報提供】：建築確認におけるBIM図面審査を実現するための申請・審査環境について



参加費無料
CPD 3単位
(予定)

（公社）日本建築士会連合会では、BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成部会が発刊した「2023年度 BIMマネージャー・コーディネーター読本」および「2024年追補版」に加え、2025年度には新たに「維持管理編」を含むテキストを発刊し、これにあわせてセミナーを開催いたします。新たな建築士像のひとつとして、BIMマネージャー・コーディネーターに対する理解を深めていただけることを願っております。

■このような方にセミナーをおすすめします：

- ・第1部：これからBIMを始めたい方、あるいはBIMを本格的に活用したいと考えている方
- ・第2部：社内のBIM環境の整備や、建築情報を活用した業務プロセスに取り組みたいと考えている方
- ・第3部：BIMの維持管理・運用への活用に関心がある方、または発注者やビルメンテナンス事業者としてBIMの利活用を検討している方

最新の情報は、BIMポータルサイト <https://kenchikushikai-bim.org/> にてお知らせします。

セミナーの詳細情報(2025年)

■開催日程、場所（時間はすべて13:30～16:30） ※会場はBIMポータルサイトでご確認ください。

10/6（月）仙台会場	11/12（水）金沢会場	12/3（水）広島会場
10/9（木）東京会場	11/17（月）大阪会場	12/4（木）香川会場
10/20（月）横浜会場	11/20（木）京都会場	12/15（月）沖縄会場
11/7（金）札幌会場	11/21（金）名古屋会場	12/17（水）福岡会場

■セミナー時間：3時間（受付：13:00より）

■セミナー構成：第1部：建築DXとBIM～世界潮流と日本のBIM活用の現在
第2部：BIMマネージャーのスキル～データマネジメント、社内環境構築と情報共有
第3部：建築物のライフサイクルマネジメント～維持管理におけるBIM活用
質疑応答
【情報提供】：建築確認におけるBIM図面審査を実現するための申請・審査環境について

■申し込み方法 QRコードにて申し込みページへアクセスし、お申し込みください。（参加無料/先着順）

■参加者特典 ご来場特典として、当日ご参加の皆さまには『BIMマネージャー・コーディネーター読本』（非売品）を差し上げます。

※事前にご登録いただいても、当日会場にお越しにならない場合は配布対象外となります。
数に限りがございますので、事前登録のうえ、ぜひ会場にお越しください。

■お問合せ （公社）日本建築士会連合会 事務局 kaishi@kenchikushikai.or.jp

50 建築士 2025.9 主催：（公社）日本建築士会連合会 情報部会／協力：各都道府県建築士会

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

- 本書におけるBIMマネージャー・コーディネーターの定義
- BIM マネージャー
 - 各プロジェクトを横断的に確認し、社外の動向を収集しながら社内標準の策定やプロジェクトチームの評価を行う立場
- BIM コーディネーター
 - 個別のプロジェクトに参画しますがモデルの入力を行わず、プロジェクトや社内標準への準拠、実行計画書への準拠等を確認し監督する立場
- BIM リーダー
 - プロジェクト標準を参照しつつ参画プロジェクトにおける BIM モデルを構築するメンバーです。BIM モデラーを監督する
- BIM モデラー
 - 参画プロジェクトの BIM モデルを構築するメンバー

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

・テキスト作成部会メンバー ◎：主査

- ・ ◎大石 佳知（公社）日本建築士会連合会 情報部会長 / （有）アーキ・キューブ
- ・ 吉田 浩司 ッ 青年委員会 委員長 / （株）ixrea
- ・ 安野 芳彦 ッ BIMTF部会長 / （株）梓設計 / （株）梓総合研究所
- ・ 日高 陽子（株）梓設計
- ・ 松澤 亮（株）梓設計
- ・ 尾畑 貴司（株）パブリッヂデザイン

オブザーバー

- ・ 泉 昌一郎 オートデスク（株）
- ・ 佐藤 和孝 ベクターワークスジャパン（株）
- ・ 志茂 るみ子 グラフィソフトジャパン（株）
- ・ 野路 皓平 福井コンピュータアーキテクト（株）

2025年度（令和7年度）

（公社）日本建築士会連合会の取組み報告

• 2025/12/24

ー ご清聴ありがとうございましたー

公益社団法人日本建築士会連合会
情報広報委員会 情報部会
BIMマネージャー・コーディネーターテキスト作成部会
部会長 大石佳知（岐阜県建築士会）